

音 声 モ ニ タ ー

取扱説明書

株式会社 シーディエヌ

目 次

1. は じ め に	P 1
2. 設 置 ・ 電 源 について	P 1
3. 操 作 ・ 設 定 上 の 注 意 点	P 1
4. 各 部 の 名 称 と 働 き	P 2
5. 設 定 モ ー ド	P 3
6. 初 期 設 定 画 面	P 5
7. 設 定 内 容 の 説 明	P 6
8. 音 声 モ ニ タ リ ン グ	P 9
9. 待 機 時 の 時 刻 と 状 況 表 示	P 10
10. 内 部 等 価 回 路 図	P 11
11. 警 報 セ ン サ 取 付 に つ い て	P 12
12. 外 観 図	P 13
13. 仕 様	P 14
14. 連 絡 先	P 14

1. はじめに

- ・本機は、音声モニター 3 ch・外部電源 (AC100V) 出力制御 3 ch・異常通知 3 chの機能を持っています。
(これらの機能を利用するには、それぞれ設定が必要です。)
- ・設定作業はモニター用テレビ画面上で行えますから、設定内容が分かりやすくなっています。
(設定操作は一般の電話機を利用しますから、特殊な機器は必要ありません。)
- ・音声モニタリング機能に連動して切り替わるビデオセクター機能も内蔵しています。

2. 設置・電源について

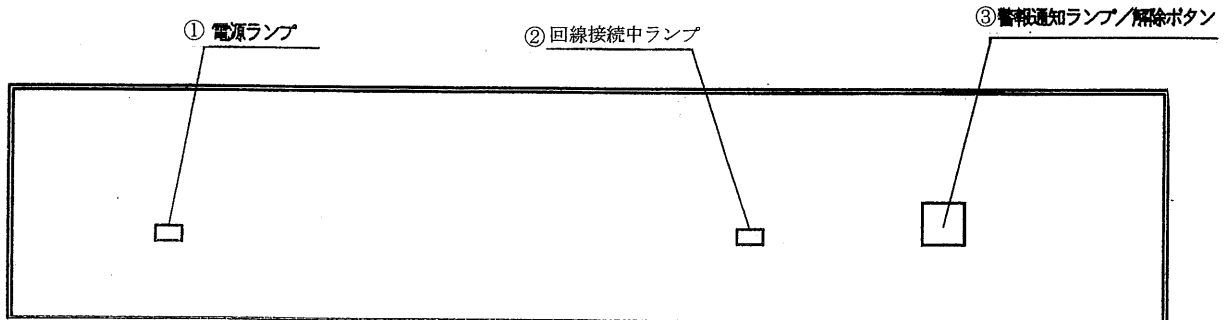
- ・家庭用コンセントAC (交流) 100Vが必要です。
- ・本機の設置に際しては下記のような所は避けて下さい。性能を維持できなくなります。
高温・多湿な場所
屋外
直射日光の当たる場所
- ・本機の接続はモジュラー式です。また、本機はプッシュホン回線専用機となっています。
ダイヤル回線では全機能を正しく利用できません。また、ホームテレホンやビジネスホンには接続できません。
- ・本機は日本国内用に設計されています。
電源電圧や電話交換方式などの異なる海外では使用できません。

3. 操作・設定上の注意点

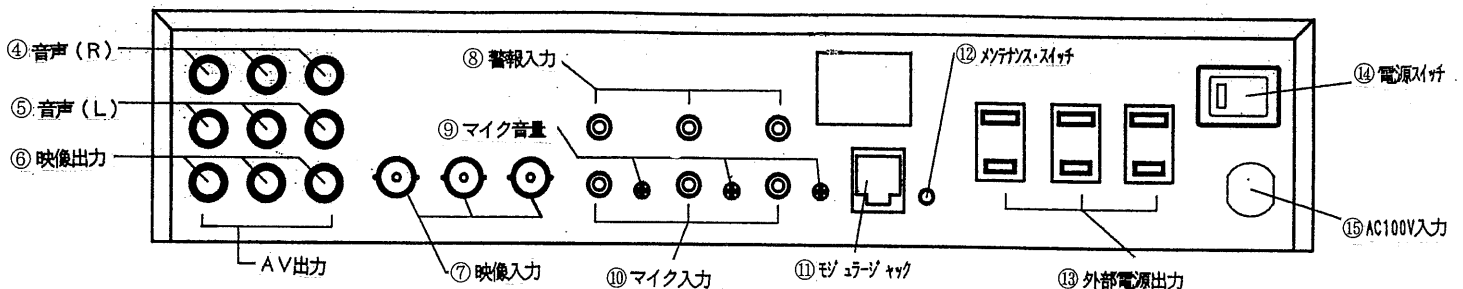
1. 音声モニター機能を利用するには、トーン信号の発生可能な電話機が必要です。
(詳細はご使用になる電話機の取扱説明書をご覧ください。)
2. 再設定を行う時に、設定画面のパスワード項目を [.] のままにしておくと
パスワードは変更されず (元のパスワードのまま)、その他の変更された項目のみ修正されます。
3. 電話番号・ポケベル番号・ポケベルメッセージには、3桁以下の番号は設定できません。
(例えば110番・119番等)
4. 電話番号・ポケベル番号に同じ番号を設定することはできません。
5. 電話番号・ポケベル番号の設定内容に [.] を含めると1秒間の待機動作を含める事ができます。
(0発信等の必要な交換機の条件に合わせる事が可能です。詳細はP4-8をご覧ください。)
6. 本機の警報入力コネクタに出力される5V電源は、消費電流が3chの合計で50mA以内に収まるようにして下さい。
7. 警報取り消しは、本機のパネルSWでも行えますが、通話中は受付ません。
8. 本機の主な設定作業は全て、TVモニター画面上で行うため設置現場にモニターTVがない場合は
液晶TV等のビデオ入力付き小型モニターを持って行かれることをお勧めします。

4. 各部の名称と働き

前面



背面

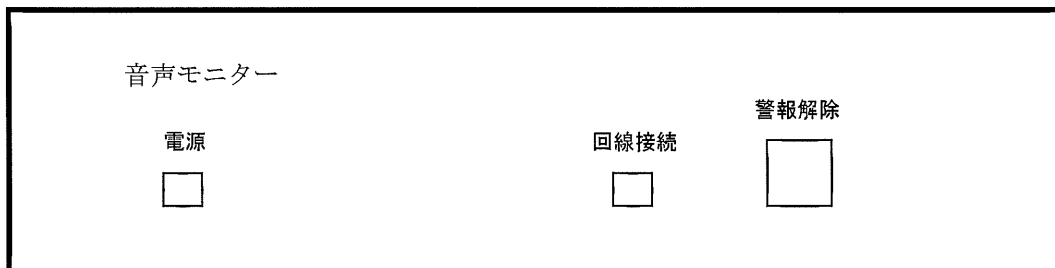


- ① 電源ランプ ----- 背面⑭電源SWをONにし通電されると光ります。
- ② 回線接続中ランプ ----- 発着信時等の電話回線接続中に光ります。
- ③ 警報通知ランプ/解除ボタン ----- 背面⑧警報入力通报了条件と一致した時に点滅し自動通報します。
押すと強制解除となり消灯します。
- ④ 音声出力 (右) } AV出力 ----- 選択された入力チャンネルのモニター出力端子です。音声、映像とも
- ⑤ 音声出力 (左) } 3出力ありますが、全て同じ内容が出力されます。尚、設定項目の電話
- ⑥ 映像出力 } モニター用マイク音量設定(P6-6.7.8項目)と、音声モニター時の音量
- ⑦ 映像入力 ----- 調整操作には関係なく出力されます。
- ⑧ 警報接点入力 ----- 3入力のうち、どれか1つが⑥AV出力端子へ出力されます。
- ⑨ マイク(音声)入力調整ボリューム ----- 異常通報するためセンサーを接続します。
- ⑩ マイク(音声)入力 ----- ⑩マイク入力からの音声レベルを調整します。各チャンネルに1ヶづつあ
ります。
- ⑪ 電話回線用モジュラージャック --- 1 K Ω タイプ、プラグインパワー内蔵です。ホシデン製HHM7632同等
品を推奨します。
- ⑫ メンテナンススイッチ ----- 電話回線を接続します。
- ⑬ 外部電源出力(AC100V-1Aまで) ---- 機能設定を変更したり確認する時にこのボタンを押したまま電源を投入
します。
- ⑭ 電源SW ----- リモート制御可能なAC100V出力です。各出力とも独立制御できます。
- ⑮ 電源入力コード (AC100V) ----- 本機の動作電源を投入/切断するスイッチです。
- 本機を動作させるために商用電源(コンセント)と接続します。

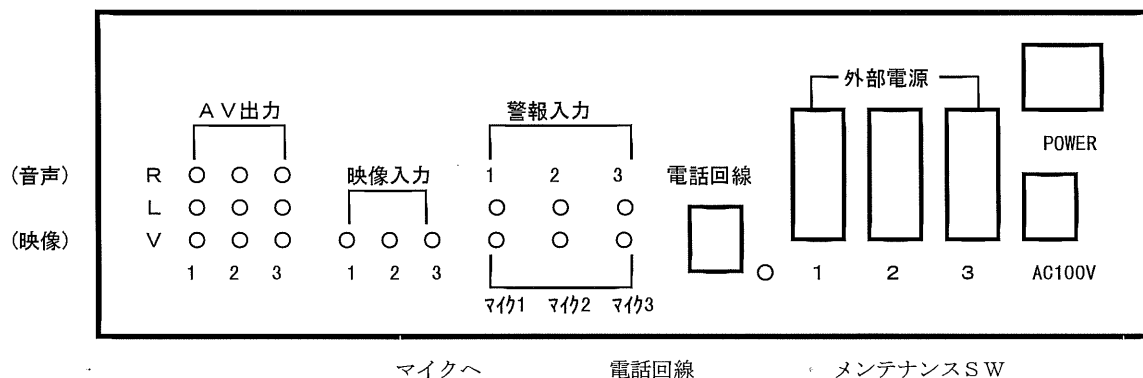
5. 設定モード

表 面

警報時点滅
ボタンを押すと警報解除
(電話中は無効)



裏 面



1. 映像入力・マイク入力・警報入力・外部電源は、接続されていなくても設定可能です。
2. 映像出力 (V) をモニター用テレビに接続し、テレビ電源を入れます。コネクターはV 1. V 2. V 3 のいずれでも構いません。上記のメンテナンスSWを押しながら電源を入れます。設定画面がテレビに表示されます。(詳細はP 5の解説を参照してください。) この画面上で各種の設定を行います。
3. プッシュホンから本機へ電話をします。(ダイヤル回線電話は使用出来ません。)
4 回程呼び出された後に本機が応答し、モニター画面右上の「OK」が「SET」になれば設定モードになった事になります。
※登録が一度も行われていないか、故障の場合は「OK」が「Err」と表示されます。
4. 「P word」の下に数字が1秒に1ずつ減少していきます。この数字が「0」になると本機は電話を切り、設定モードを中断します。確定操作(項目7)をしていなければそれまでの変更内容は破棄されます。
トーン信号が入力されると数字は元に戻りますので、設定動作は数字が「0」にならないうちに行ってください。
5. 最初に「*」ボタンを数回押して下さい。
画面の文字の一部が点灯・点滅を始めます。

- | | | |
|---------------------|-------|---------------------|
| 「 1 」
項目戻り | 「 2 」 | 「 3 」
項目次へ |
| 「 4 」
カーソル左 | 「 5 」 | 「 6 」
カーソル右 |
| 「 7 」
カーソル位置の内容減 | 「 8 」 | 「 9 」
カーソル位置の内容増 |
| 「 * 」 | 「 0 」 | 「 # 」 |

- ・「3」を数回押し年・月・日の項目の数字が点滅するようにします。
- ・「6」で年・月・日の変更したい位置に点滅位置を移動させます。
- ・「4」で1文戻り「7」または「9」を押すと点滅位置の数字が加減します。
- ・目的の数字になるように「4」「6」「7」「8」の操作を繰り返します。
- ・次の項目に移動するには、「1」「3」を使用します。

- 警報入力 $\left(\begin{array}{l} 1 : 697 \text{ Hz}, 1336 \text{ Hz} [2] \\ 2 : 852 \text{ Hz}, 1336 \text{ Hz} [8] \\ 3 : 941 \text{ Hz}, 1447 \text{ Hz} [\#] \end{array} \right)$ の (ピー) 音が出力されます。

6. 初期設定画面

⑩ パスワード	② 日 付	① 装置NO	⑳ 終了モード (set・OK)
㉑ 設定中断までの残り時間	Pword: NO. 01 . OK 180 98年06月25日 14:56:33 AC1 tel<OFF> 音1 30 AC2 off<OFF> 音2 13 f AC3 xxx<OFF> 音3 13 Scan: ch1 Pos: → ↑ 録画 ↓ ↓ SW1 off<ON> 03mm in 3ヶ SW2 on<OFF> 505mm in 3ヶ SW3 xxx<OFF> : 0803931370. b ☎: 500070 t M: 1234567890♪♪*.*. V		
③ 外部電源1出力設定	⑨ 時刻		
④ 外部電源2出力設定	⑥ 電話モニター時マイク1音量		
⑤ 外部電源3出力設定	⑦ 電話モニター時マイク2音量		
⑨ ビデオ入力選択切替秒	⑧ 電話モニター時マイク3音量		
⑩ 警報入力1通報条件	位置 (※1)		
⑪ 警報入力2通報条件	⑬ 音声通報動作		
⑫ 警報入力3通報条件	⑭ ボケル通報動作		
⑬ 音声通報電話番号	入力信号モニター ※2		
⑬ ボケル通報電話番号			
⑬ ボケルメッセージ			

画面 1

※1

イ Pos: → ↑ 文字画面座表
ロ 録 画: → ↑ 時刻表示位置
ハ f : フック状態
ニ プッシュボタンからの入力文字

※2

b . . . 通常時 ○ . . . 呼び出し
t . . . 電話検出無 T . . . 電話検出有
(電話呼出時 t・T交互に表示)
画 . . 出力映像信号有
V . . 出力映像信号無

(画面表示での * は*, ♪ は#です。)

(イ) 画面座表

2項目あります。文字画面全体の表示位置を設定します。

「→」に項目がきている場合に「7」キーを押すと文字画面が左に移動します。

「9」キーを押すと文字画面が右に移動します。

「↑」項目にきている時には、「7」「9」キーで文字画面が上下移動します。

文字画面・録画時刻表示が画面からはみ出している場合に調整用として使用します。

(ロ) 時刻表示位置 (出力映像の時刻表示位置を設定します)

↑←: 左上に2段表示 ↑—: 上中央に2段表示
↑→: 右上に2段表示 ↓←: 右下に2段表示
↓—: 下中央に2段表示 ↓→: 右下に2段表示
↑↑: 上へ一列表示 ↓↓: 下へ一列表示

(ハ) フック状態

電話マーク (☎) 時は、電話回線の接続中です。

f マーク時は待機状態で、電話回線は接続されていません。

(ニ) プッシュトーンの入力文字

電話機からのプッシュトーン文字が表示されます。

7. 設定内容の説明

(画面表示での ♫ は*, ♪ は# です。)

①装置NO,

音声モニターを複数台設置すると、異常通報時の区別が必要となります。

1～99の設定が可です。点滅文字位置に関係なく「7」「9」キーに対して1つつしか増減しません。

②日 付

制御や映像出力に時刻表示するための時計です。本機が通電状態でなくても数日は動作します。

③外部電源 出力1 設定

④外部電源 出力2 設定

⑤外部電源 出力3 設定

外部電源の出力設定をします。モードは4種類あります。[7]と[9]キーで変更できます。

t e l : 回線が接続され、パスワードが認証された時点でONとする。

××× : 出力を制御しません。(常にOFF)

o n : 初期状態の出力はON (リモートコントロール可能)

o f f : 初期状態の出力はOFF (リモートコントロール可能)

(初期状態: 本機の電源がONになった時の初期出力設定)

⑥電話モニター用のマイク1音量

⑦電話モニター用のマイク2音量

⑧電話モニター用のマイク3音量

0 (最小) から40 (最大) まで可変できます。通常は30前後に設定して下さい。

その状態でマイク入力端子の横にあるボリュームで聞き易い音量に設定します。

「7」「9」キーで1つつ増減します。⑥が点滅している状態でマイク1がモニターできます。

又、映像入力1があれば文字背景に画像が写りますので、設置時の映像入力・マイク試験にも使用できます。⑦が点滅していればマイク2・映像入力2が対応します。⑧が点滅していればマイク3・映像入力3が対応しています。

⑨映像入力の画面切替設定

ch1, ch2, ch3, 1～999秒の設定が可能です。1秒以上の場合は、指定秒数毎にマイク入力・映像入力チャンネルが切り替わります。

切り替わったチャンネルに映像入力がない場合は、3秒で次のチャンネルに替わります。

ch1～ch3は、チャンネル固定モードです。ch1が映像入力1, ch2が映像入力2, ch3が映像入力3に対応しています。

ch1～ch3のどれかに設定した場合、電源投入直後は指定チャンネルの映像が選択されていますが、音声モニタリング操作を行うと、マイク1が映像入力1, マイク2が映像入力2, マイク3が映像入力3に連動して切替ります。

電話を切った後も、この値は保持されますので音声モニタリング操作で映像入力を切替える事が可能です。

- ⑩警報入力1 通報条件 (SW1)
- ⑪警報入力2 通報条件 (SW2)
- ⑫警報入力3 通報条件 (SW3)

異常通報を行う接点情報の条件を決めます。
「7」「9」キーで「on」「off」「×××」と変化します。

「on」は、接点が閉じた場合に通報します。
「off」は、接点が開いた場合に通報します。
「×××」は、通報しません。

項目後の〈 〉の中は、現在の接点状態です。

⑬音声通報動作

2項目に分かれています。⑩～⑫の接点通報条件が生じた場合に音声通報の繰り返し条件を設定します。

通報時に話中や呼び出しても出ない場合など、通報確認がとれなかった場合は、再度通報を行うようになっています。その再送間隔と回数を設定します。繰返間隔は3分より短くできません。回数は最大で9分おきの9回までです。音声通報を行ないたくない場合は、⑮(通報用電話番号)を[.....](すべて[.])にしてください。

⑭ポケベル通報動作

2項目に分かれています。⑬と同様です。

但し、ポケベルでは通報確認ができないため、音声通報時に確認が行われるまで、指定回数の通報が行われます。(⑮で示す[#][*][2]の操作)

ポケベル通報を行いたくない場合は、⑯か⑰を[.....](すべて[.])にしてください。

⑮音声通報電話番号

⑩～⑫の接点通報を行う電話番号です。

音声で“装置NO”，“接点NO”，“異常”と通報されます。

例えば 装置NO1の警報入力3番センサーの入力が通報条件と合致した場合・・・
”1バン 3 イジョウ” というメッセージが返ってきます。

内容が確認できたら[#][*][2]を押して下さい。「OK」と返事があれば異常通報の確認がとれた事になり、その警報通知は終了となります。

「OK」と返ってこない場合は、[#][*][2]を再度ゆっくり押して下さい。「OK」後は、音声モニタリング機能に移って各操作を受け付けます。

この状態で「1」ボタンをプッシュした時、マイク1の声を聞く事ができます。

その他モニターモードのコマンドも全て受付可能です。状況が分かったら電話を切して下さい。

「#」「*」「2」により通報確認が行なわれるとポケベル通報も解除されます。

この項目を[.....](すべて[.])にすると音声通報は行われません。

※3桁以下の電話番号は無効です。ポケベル通報用電話番号⑯と同じ番号は設定出来ません。

⑯ポケベル通報電話番号

ポケベルの電話番号を設定します。[.....]にすると通報は行われません。

※3桁以下の電話番号は無効です。音声通報用電話番号⑮と同じ番号は設定出来ません。

⑰ポケベル・メッセージ

ポケベルへのメッセージを登録します。メッセージに必要なトーン信号の配列です。メッセージが3文字以下の場合は、ポケベル番号が設定されていても通報は行われません。

⑩パスワード

8文字まで設定可です。1文字以上あればパスワードとして機能します。

※キー以外が使用出来ます。不要部は[.]にして下さい。

パスワードは、設定後に設定モードを行っても画面には表示されません。

[.....]状態で設定を終了すると以前のままです。

⑪時間

※時間以外の全ての設定が終了した後設定して下さい。

⑫セット完了モード (S e t・OK)

内部の設定値が正常な状態 : O K

設定モード実行中 : <録>

登録確認状況 : S e t

内部設定値異常 : E r r (未登録時もある)

⑬設定中断までの残り時間 (秒)

設定モードに入ってから回線断までの残り時間。3分間 (180秒) 操作がない場合、自動的に電話を切り設定作業を中断します。トーン信号が入ると戻ります。

8. 音声モニタリング

※音声モニタリング機能を利用するには、パスワードが設定されている必要があります。
(パスワードは設定モードで設定します。P10-⑩参照)

1. 本機に電話します。

装置NO, が繰り返され、しばらくするとカウントダウンが聞こえてきます。

装置NO, が繰り返されている間に次の操作を行って下さい。

「*」キーを押してから、パスワードを入力して下さい。

例： パスワードが [1 2 3] の場合

電話のボタンで [*] [1] [2] [3] と押す

「OK」と返事がきたら音声モニタリング動作になり、各操作を受け付けます。

「OK」の返事がこない場合は、再度ゆっくりと「*」とパスワードを入力して下さい。

2. プッシュホントーンコードにより下記の操作が出来ます。

「1」		c h 1 音声モニター	} モニターNO,
「2」		c h 2 音声モニター	
「3」		c h 3 音声モニター	
「4」		警報入力1の状態	} 警報を有効とする設定の確認
「5」		警報入力2の状態	
「6」		警報入力3の状態	
「7」		音声モニター音量 d o w n	
「8」		装置NO, (店NO,)	
「9」		音声モニター音量 u p	
「0」		電源状態の確認	
「#」	「1」	 外部電源制御 1	} 出力条件の確認
「#」	「2」	 外部電源制御 2	
「#」	「3」	 外部電源制御 3	
「#」	「4」	 警報通報条件 1	} 通報条件の確認
「#」	「5」	 警報通報条件 2	
「#」	「6」	 警報通報条件 3	
「#」	「7」	 通報先電話番号	
「#」	「8」	 通報先ポケベル番号の確認	
「#」	「9」	 ポケベルメッセージコードの確認	
「#」	「0」	 現在時刻の確認	
「#」	「*」	「7」	 時計1分遅らせる
「#」	「*」	「9」	 時計1分進ませる
「#」	「*」	「2」	 警報確認クリア
「*」	「7」		電話通報条件の確認
「*」	「8」		ポケベル条件の確認
「*」	「#」	「1」	 外部電源制御 出力1 オン
「*」	「#」	「2」	 外部電源制御 出力2 オン
「*」	「#」	「3」	 外部電源制御 出力3 オン
「*」	「#」	「4」	 外部電源制御 出力1 オフ
「*」	「#」	「5」	 外部電源制御 出力2 オフ
「*」	「#」	「6」	 外部電源制御 出力3 オフ
「*」	「#」	「0」	 メッセージクリア

9. 待機時（通常動作）の時刻と状況表示

<<音声 Monitor>>

Ver 1.18

SW1<On> AC1<off> 音1:39
 SW2<OFF> AC2<OFF> 音2:22
 SW3<off> AC3<...> 音3:09

98年06月25日b 14:48:11 1..

年 月 日 時 分 秒 1 2 3

警 警 警

報 報 報

警報入力がONの場合各入力NO, が表示されます。

<<音声 Monitor>>

Ver 1.18

SW1<On> AC1<off> 音1:39
 SW2<OFF> AC2<OFF> 音2:22
 SW3<off> AC3<...> 音3:09

98年06月25日b 14:48:11 1..

↑

↑ a, b, c が映像入力1. 2. 3に対応しています。

上記画面の装置NO, と交互に表示されます。

[ON/OFF表示について]

上の画面に表示される状況（ON/OFF）表示は設定内容により意味が異なり、文字の大きさ（大文字／小文字）で表します。詳細は下記の通りです。

SW1. SW2. SW3・・・・・・ 警報入力の接点状態

通報設定の内容	接点オン／接点オフ
・ 通報ナシ	・・・・ on / off
・ 接点ONで通報	・・ ON / OFF
・ 接点OFFで通報	・・ On / Off

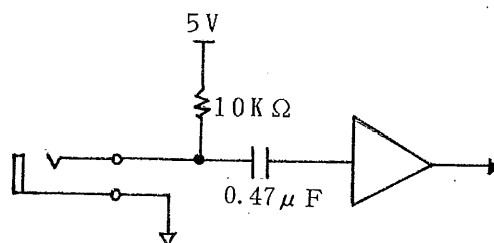
AC1. AC2. AC3・・・・・・ 外部電源出力の状態

制御設定の内容	出力オン／出力オフ
・ 制御ナシ	・・・・ <...>
・ リモートコントロール可能	・・ ON / OFF
・ 電話接続時	・・ On / Off

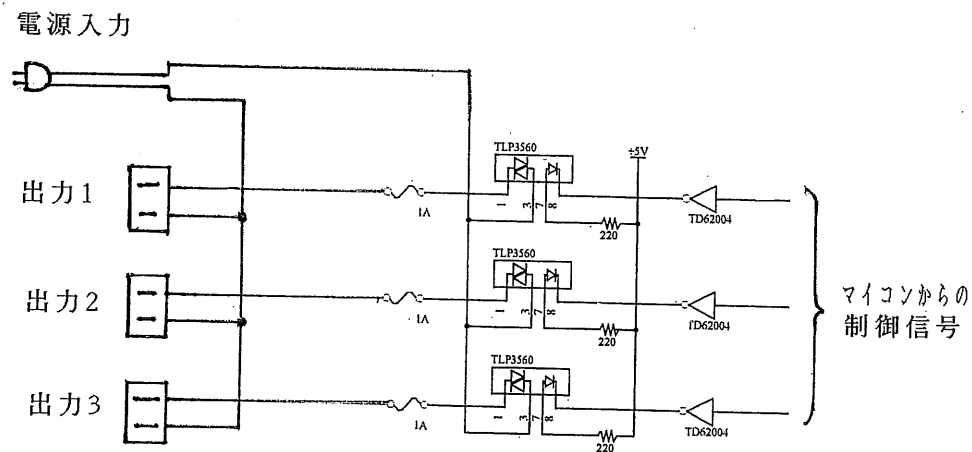
↑（音声モニタリング時のパスワードが承認された時に出力ON）

10. 内部等価回路図

- ・マイク（音声）入力部



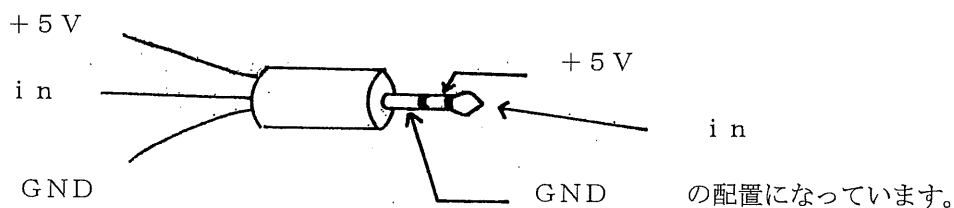
- ・外部電源出力部



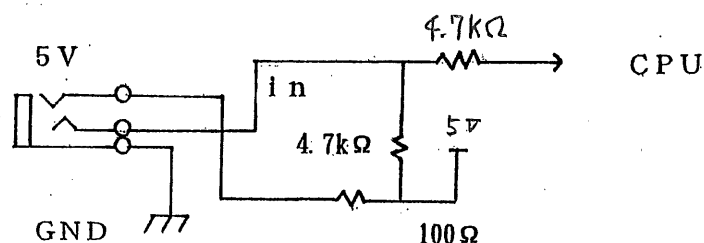
本機の電源出力時にはサージ対策が施されていません。そのため落電などサージ保護が必要な場所に設置される場合は、本機の出力量と負荷機器の間に保護回路を追加して運用して下さい。

11. 警報センサー取付について

警報センサー入力コネクタは、3.5φステレオジャックにて入力します。

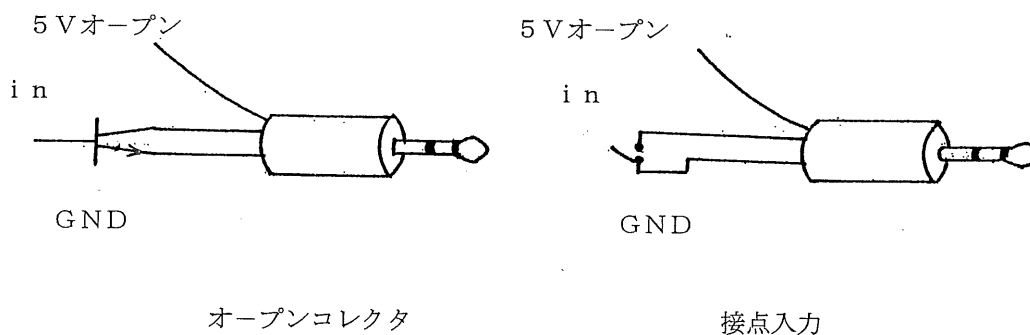


内部回路は、下図のようになっています。



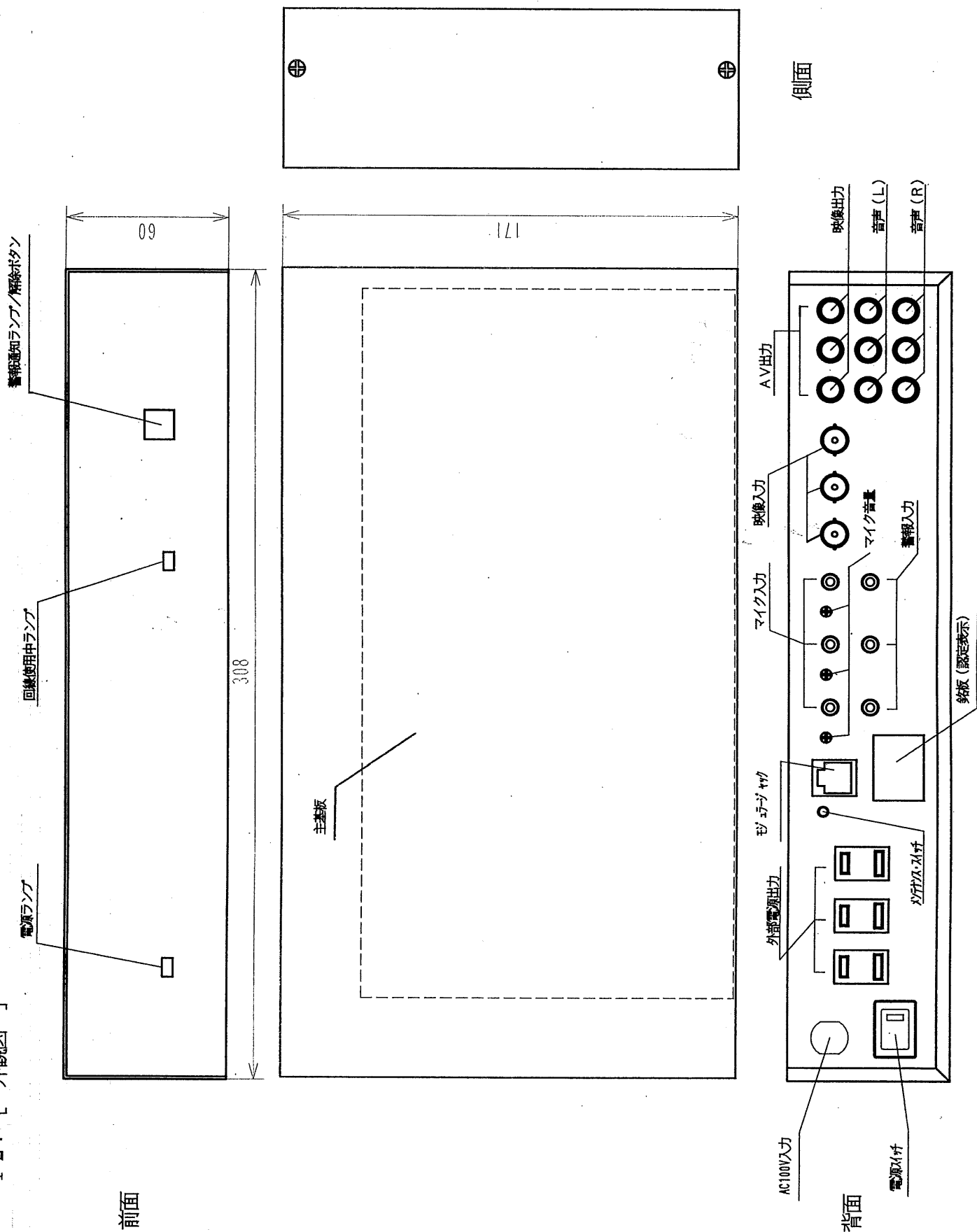
警報入力にステレオジャックでなく、モノラルジャックを差し込むと供給電源の5Vが100Ωを経由してショートされ、50mAの電流が流れます。

1chでは50mAですが、3ch共ショート状態になると150mAの電流になります。本機の内部電流は、150mAまでの負担に耐えるように設計されていません。そのため警報入力への接続には、必ずステレオプラグを使用して下さい。また本機供給電源（5V）からの電流取り出しは、3chの合計で50mA以内になるように設計して下さい。もし、外部センサが別電源で駆動されていて、本機から電源を供給する必要がなければ、5V端子はオープンとし、オープンコレクタか接点で次のようにドライブして下さい。



※ in 端子には、外部からの電圧が加わらないようにして下さい。

12. [外觀図]



13. 仕 様

項 目	概 略 仕 様
摘 要 回 線	電話回線
回 線 数	1 回線
選 別 信 号 種 別	P B (プッシュホン方式)
電 源	A C 100 V (50 H z / 60 H z)
寸 法	308 (W) × 170 (D) × 60 (H) mm
重 量	2 K g

- ・本機は一般の商用電源 (AC100V、50/60Hz) に接続するように設計されています。

14. 連 絡 先

- ・本機の運用中などでトラブルが発生した場合は下記まで御連絡下さい。

〒880-0934 宮崎県宮崎市大坪東1-18-22

株式会社シーディエヌ

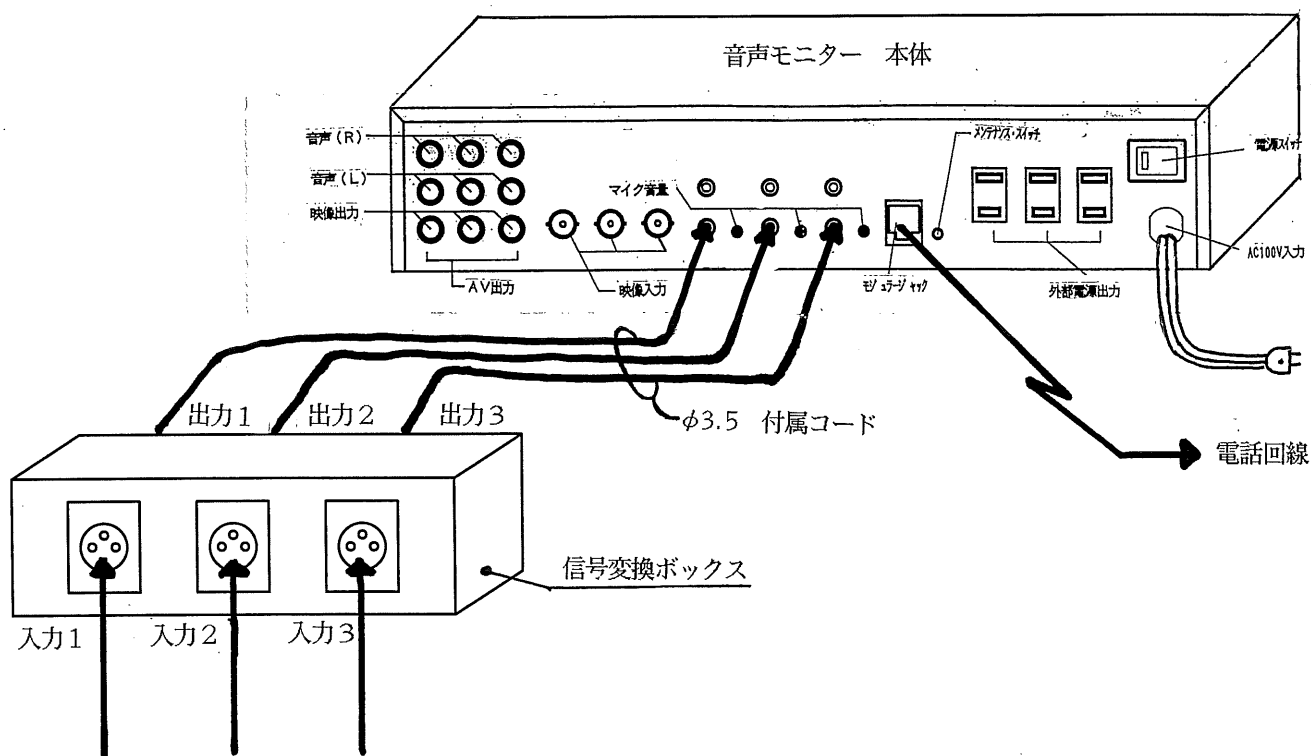
TEL 0985-53-0732

FAX 0985-52-3727

[梱包品リスト]

- ① 音声モニター本体・・・・・・・・・・ 1 台
- ② 信号変換アダプター・・・・・・・・・・ 1 台
- ③ 中継コード (φ 3.5 プラグ)・・・・・・ 3 本
- ④ 取扱説明書・・・・・・・・・・ 1 冊
- ⑤ クイックガイド・・・・・・・・・・ 1 枚 (本紙)

[設置と配線]



入力 : 600Ω 0dBm (+10dBm MAX)

詳しい設置条件は取扱説明書 1 ページに記載されています。

リモート操作をするには、あらかじめパスワードを設定する必要がありますが、弊社にて認意のパスワードを設定し出荷しています。このままの運用も可能ですが変更の必要な場合は取扱説明書の 3 ページを参照して再設定して下さい。

また、各チャンネルのレベル調整 (3 ch と同レベル) も済んでいますので配線後すぐにテスト動作させることが可能です。

レベルの調整は上図のマイク音量ボリューム (φ 3.5 入力ジャックの右隣) にて行います。

詳しくは、取扱説明書 2 ページ⑨をご参照下さい。

本機の主な設定作業は全て、TVモニター画面上で行うため設置現場にモニターTVがない場合は液晶TV等のビデオ入力付き小型モニターを持って行かれることをお勧めします。

外部電源出力は、電話をかけてパスワードの確認ができれば、ONし電話を切るとOFFになる仕様に設定されています。

この仕様は変更可です。変更したい場合はP 6 ⑤を参照して下さい。

〔 音声モニタリング・クイックガイド 〕

※音声モニタリング機能を利用するには、パスワードが設定されている必要があります。
(パスワードは設定モードで設定します。P 10 - ⑩参照)

本機の設定 NO. Possword

- ・本機に電話します。

装置NO, が繰り返され、しばらくするとカウントダウンが聞こえてきます。

装置NO, が繰り返されている間に次の操作を行って下さい。

「*」キイーを押してから、パスワードを入力して下さい。

例： パスワードが [1 2 3] の場合

電話のボタンで [*] [1] [2] [3] と押す

「OK」と返事がきたら音声モニタリング動作になり、各操作を受け付けます。

「OK」の返事がこない場合は、再度ゆっくりと「*」とパスワードを入力して下さい。

- ・プッシュホントーンにより下記の主だった操作が出来ます。

「1」・・・・・・・・・・c h 1 音声モニター

「2」・・・・・・・・・・c h 2 音声モニター

「3」・・・・・・・・・・c h 3 音声モニター

} モニターNO,

「4」・・・・・・・・・・警報入力1の状態

「5」・・・・・・・・・・警報入力2の状態

「6」・・・・・・・・・・警報入力3の状態

} 警報を有効とする設定の確認

「7」・・・・・・・・・・音声モニター音量d o w n

「8」・・・・・・・・・・装置NO, (店NO,)

「9」・・・・・・・・・・音声モニター音量u p

「0」・・・・・・・・・・電源状態の確認

その他のリモート操作については取扱説明書P 9を参照して下さい。